2021年2月25日

各校学生代表者　各位

関西学生アーチェリー連盟

委員長　藤野　廣実

副委員長　吉松　蒼生

総務委員長　井原　純子

定時総会においての質疑への回答

拝啓　時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

　さて、去る令和3年２月20日（土）に、関西学生アーチェリー連盟定時総会を行いました。

その際に、「リーグ戦オンライン開催マニュアル」についての質問があったため後日回答とさせていただきました。

質問①

関西学院大学より

「大学のクラブ活動での射場に入場できる人数が限られるため、上ヶ原レンジに加え三田レンジと人数を分けて試合を行っても良いか。」

回答

「許可するが、その際のルーターなどの設備を自レンジで用意することとする。」

質問②

追手門学院大学より

「SLからの距離はどのように測るのか。」

回答

「各校で計測をお願いします。

質問③

神戸大学より

「優勝決定戦で70mが射てないレンジの場合どうするか。」

回答

「優勝決定戦に出場する大学で50M・30Mラウンドでの７２射計で勝敗を決定する。」

質問④

追手門学院大学より

「通信トラブルがあった場合、どのような対処か。」

回答

「通信トラブルが発生してから30分間までは中断は認める。30分以上の中断があった場合はDOS 及び審判長の判断により 原則として試合は終了する。ただし、どちらか一方でも再試合を希望すれば原則としてリーグ戦予備日 に再試合を行う。もし再試合をどちらも希望しなければ中断した時点の得点で勝敗を決定する。その際の得点は平均点に含まない。とする。」